

競技注意事項

1. 競技規則について

本競技会は2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技注意事項により行う。

2. 練習について

- (1) 練習は第2陸上競技場及び競技役員の指示する場所において、競技役員の指示のもとに行う。
- (2) 投てき及び跳躍競技は、競技役員の指示により主競技場で練習を行う。

3. 招集について

- (1) 招集所は、第2陸上競技場用器具庫内に設ける。
- (2) 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準に、次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	30分前	20分前
フィールド種目	50分前	40分前

(3) 招集の手順

- ① 競技者は、招集開始時刻に、招集所に掲示してある出場競技者一覧表に本人または代理人がチェック(自分のナンバーを○で囲む)をする。
 - ② 競技者は招集開始時刻には招集所で待機し、競技者係の確認を受ける。その際、ナンバーカード・競技用靴・衣類等の商標等について確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終確認は認めない。但し、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに本人または代理人が競技者係に申し出ておくこと。
 - ④ リレー競技に出場するチームは、各ラウンド毎に招集開始時刻の1時間前までに、所定のオーダー用紙に記入の上、競技者係まで2部提出すること。リレーオーダー用紙については、プログラム末尾に付けてあるものを使用すること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
 - (5) 招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。
 - (6) ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことができない。
 - (7) 競技場所へは係員の誘導・指示により入場する。
 - (8) 混成競技の招集は各日最初の種目に限り招集所にて行う。それ以後の招集は行わないので、混成競技出場者は次の種目から混成競技者控室にて待機し、競技役員の指示に従うこと。

4. 競技について

(1) トラック競技について

- ① 不正スタートについては競技規則第162条に従い、不正スタートの責任を有するものは1回で失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後不正スタートした競技者は、すべて失格とする。
- ② 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- ③ 800m以上の種目で最終枠に同タイムがあった場合は、その全員が次のラウンドに進出できるとし、800mでレーンの数が足りない場合は中位の第8レーンに2名の競技者を配置する。
- ④ 次ラウンドへの同タイム抽選を行う場合、当該競技者または代理人が呼び出しアナウンス後10分を経過しても集合しない場合は、棄権したものとみなす。

- ⑤ トラック競技では大型スクリーンを用いた「ライブリザルト」による結果発表を行うことがあるが、「判定中」を示しているもので、「正式結果」でないことに注意すること。
- ⑥ 国民体育大会一次予選会においては、ハードル種目の高さやハードル間の長さは、国体要項に準じる。
- ⑦ 混成競技における最終種目の前面のナンバーカードは特別なナンバーを使用する。(前の種目終了時までの総合得点の高いものからの順番を示すナンバーのこと)

(2) リレー競技について

- ① リレー競技は同一のユニフォームを着用すること。色・デザインが統一してあれば、同一のもののみなす。
- ② レーンで行うリレー競技の競技者は、ダッシュマークとして自分のレーンにチョークや類似品を使わずに、最大 50mm×400mm の粘着テープによって印を1ヶ所付けても良い。その印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。
- ③ リレーチームの編成は、どのラウンドにおいても所属チームのメンバーでプログラムに記載されている競技者であれば出場することができる。但し、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。
- ④ リレーオーダー用紙提出後の選手変更は原則認めない。但しリレーオーダー用紙提出後、負傷などの理由によりメンバーを変更する場合のみ選手変更を認める。その場合、医師(医務員)の診断に基づき総務の了承が必要となる。

(3) フィールド競技について

- ① 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、優勝が決まるまでは下記の通りとする。

種目及び種別		練習	1	2	3	4	5	6	7	8~
走高跳	男子	1.65	1.70	1.75	1.80	1.85	1.88	1.91	1.94	3cm 刻み
	女子	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	1.56	1.59	
棒高跳	男子	2.80	3.00	3.20	3.40	3.60	3.70	3.80	3.90	10cm 刻み
		3.80								
	女子	1.90	2.00	2.10	2.20	2.30	2.40	2.45	2.50	5cm 刻み

- ② 悪天候などの不測の事態が発生した場合のバーの上げ方は、審判長の決定による。
- ③ 棒高跳の支柱位置の申請は、ピット到着後競技役員が受け付ける。
- ④ 国民体育大会一次予選会の投てき種目においては、重量等は国体要項に準じる。

(4) 抗議について

競技の結果または競技実施に関する抗議は、抗議に関連する種目の同じラウンドで競技している競技者またはチームに限りすることができる。競技規則第 146 条に従って定められた時間内に、競技者自身またはチームを公式に代表する者が審判長(本部席の担当総務員に申し出る)に対して口頭で行い、指定された控室で待機する。

5. 助力について

競技者に対する助力は、競技規則第 144 条に従う。競技中、競技場内で、助力を与えたり受けたりしている競技者は、審判長によって警告され、さらに同様の行為を繰り返すとその競技者は失格になるということを警告される。フィールド競技に関しては競技役員の許可のもとスタンド席のコーチとコミュニケーションをとることができるが(競技区域内から)、競技役員の指示に従わない場合は助力を受けたとみなす。

6. 競技用器具について

競技に使用する用器具は棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

7. 表彰について

- (1) 各種目優勝者には賞状とメダルを授与する。2位・3位の入賞者には、賞状を授与する。
- (2) 各種目3位までの入賞者は、競技結果のアナウンス後15分を目途に表彰式を行うので、被表彰者控所(メインスタンド玄関ロビー)で待機し、表彰係の指示を受けること。
- (3) 表彰式の時刻に他の種目に出場するため集合できないときには、代理人の待機を認める。

8. 一般注意事項

- (1) トラックレースの予選は全てタイムレースとする。
- (2) 徳島陸上競技協会以外の登録者の参加については、予選のある種目は予選まで、高さを競う種目以外のフィールド種目における試技は3回までとし、オープン参加の扱いとする。但し、記録は公認される。
- (3) 記録は正面スタンド2Fの記録掲示場所に掲示する。
- (4) 記録証の交付を希望する競技者は、大会本部に記録証交付願および交付料金 500 円を添えて申し込むこと。
- (5) 大会期間中、競技場で発生した傷害や疾病は応急処置を行うが、その後の責任は負わない。
- (6) 更衣は第2陸上競技場の男子・女子更衣室を利用することができる。ただし、貴重品は各自で保管すること。紛失、盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
- (7) 大会期間中に主催者に届けられた物品(遺失物)については、一時的に大会本部にて保管する。大会終了後はアミノバリューホール1Fの管理事務室に問い合わせること。
- (8) 競技場は常に清潔保持に努め、ゴミ等は各自で必ず持ち帰り処分すること。
- (9) 競技者の意に反する写真撮影等の迷惑行為を行う者を発見したときは、速やかに本部係員まで連絡すること。